資料３－３

「もーりーカー」登録者アンケートの結果（概要）

１　調査概要

調査対象：「もーりーカー」の登録者　2,100 名

調査期間：令和５年３月 10 日（金）～令和５年３月 31 日（金）

調査方法：対象者に対して郵送により配付、回収

回収状況：回答者 1,198 名　　回答率 57.0％

２　調査内容

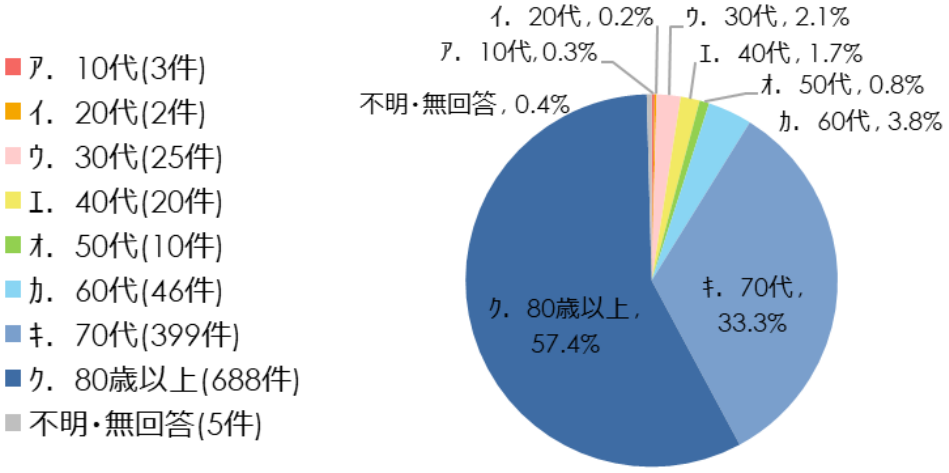
質問		質問の意図
問１	個人属性	・ 個人属性の把握 ・ クロス集計に使用
問２	利用状況	・ 利用者の利用頻度、目的等の把握 ・ 利用しない人について、その理由の把握
問３	制度の内容	・ 運行時間、予約、運賃、乗降場所および目的地に係る不満点やその他のニーズの把握

３　調査票、調査結果　　別紙「参考資料２」のとおり

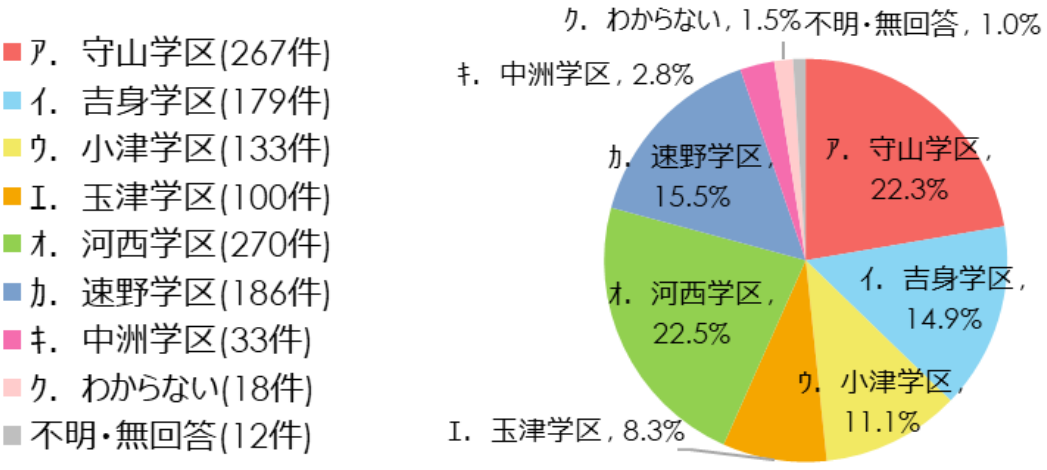
４　調査結果概要

①【回答者 1,198 名の内訳】

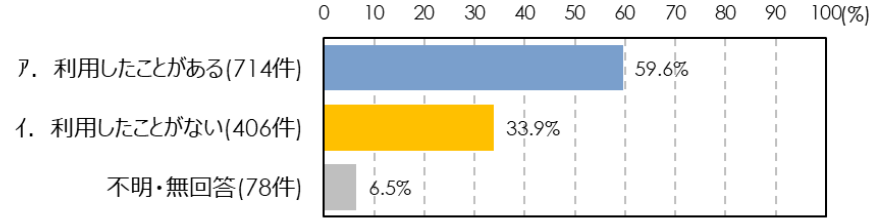
○年齢別



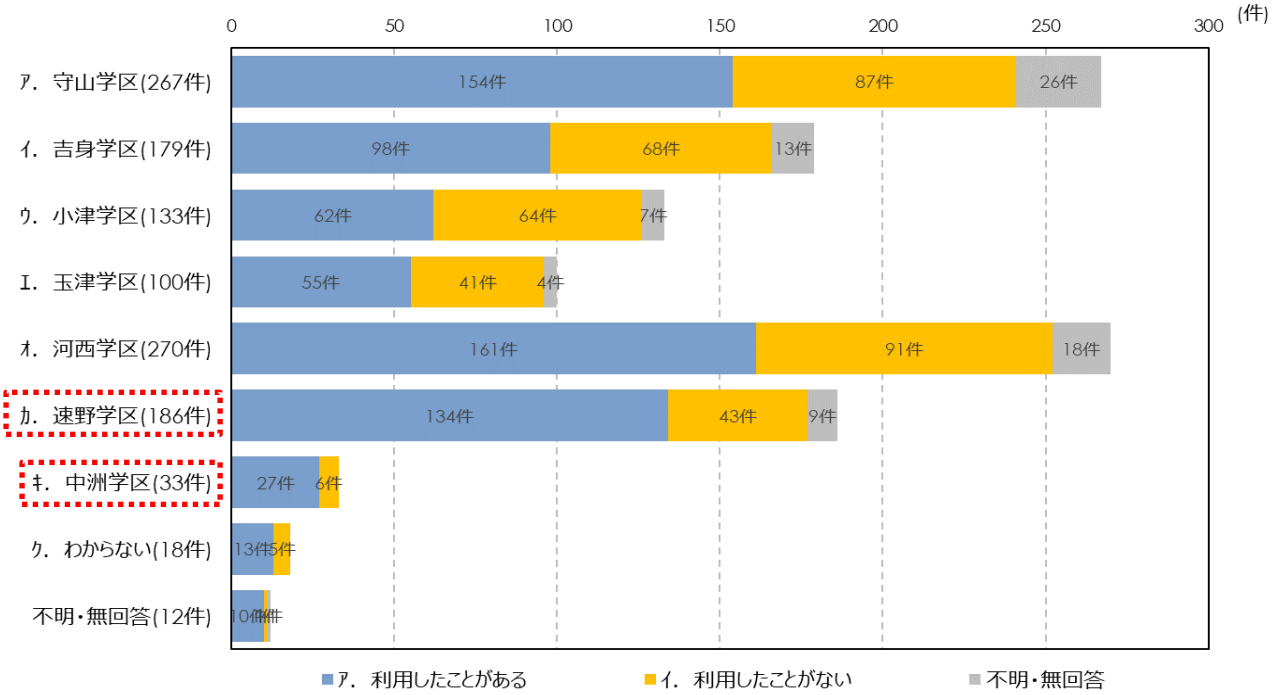
○学区別



②【今までに利用したことがあるかどうか（利用率）】

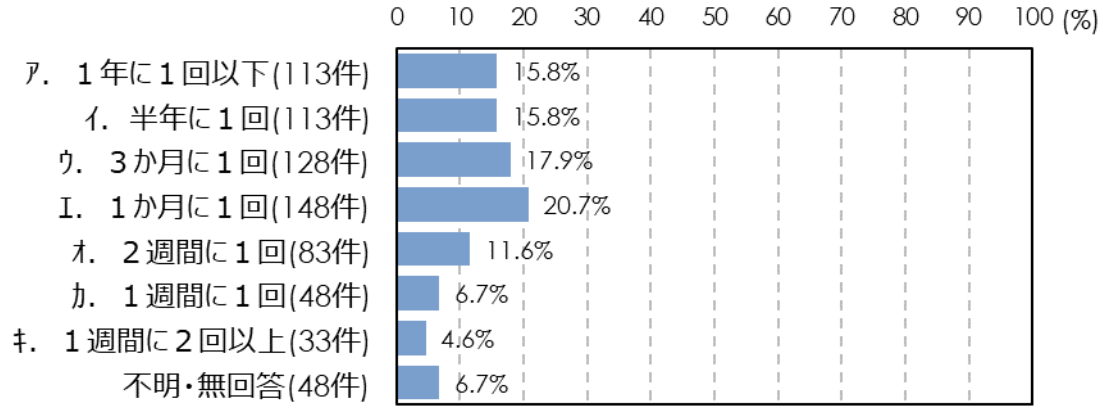


○学区別



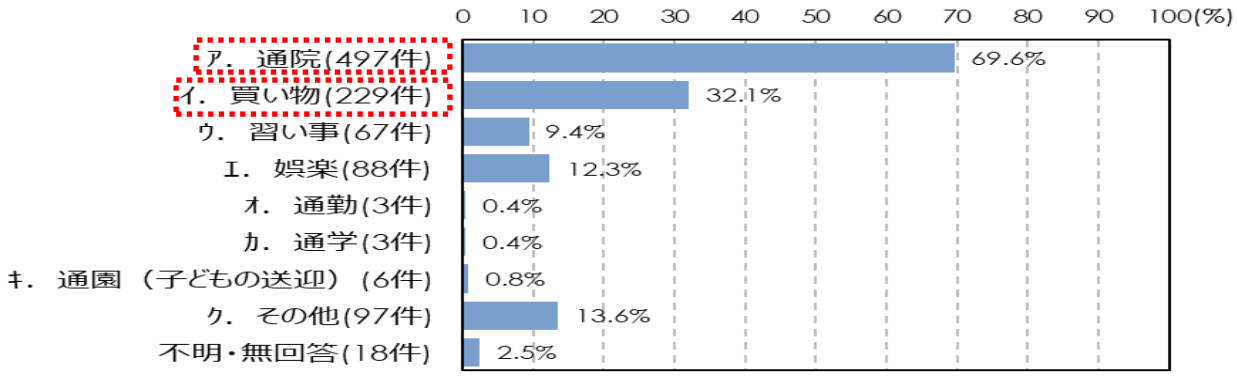
全体の利用率は 59.6%だった。
学区別では中洲学区と速野学区の回答者のうち、利用したことがあると答えた人が多かった。

③【利用の頻度】



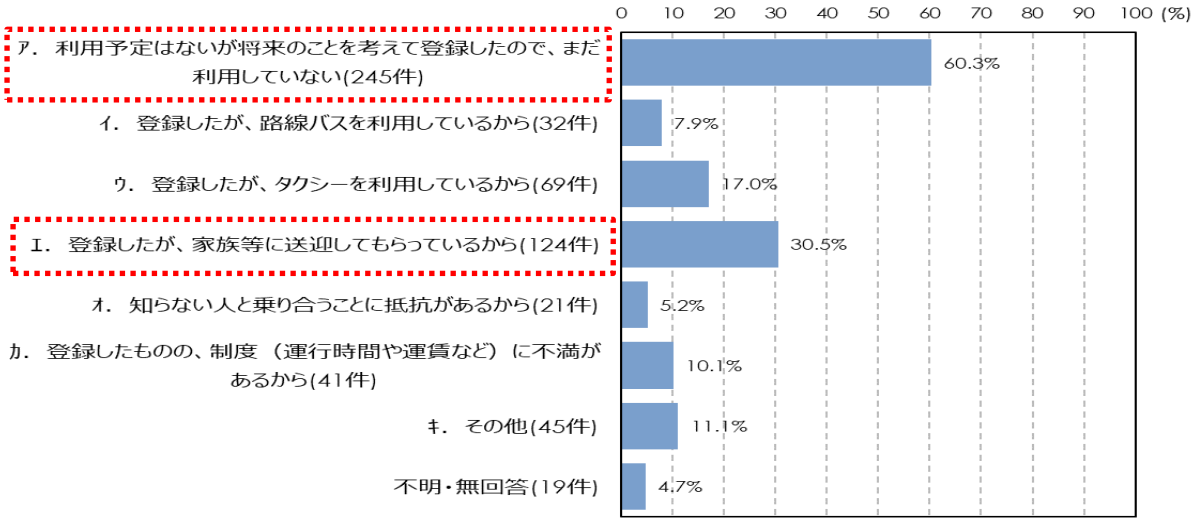
「ｴ．1か月に1回」が 148 件で 20.7%と最も多く、次いで「ｳ．3か月に1回」が 128 件で 17.9%なっている。また、1か月に1回以上利用している人（エ～キ）は合計すると 312 件で 43.6%となり、日常的に利用している人が半数程度である。

④【利用の目的】



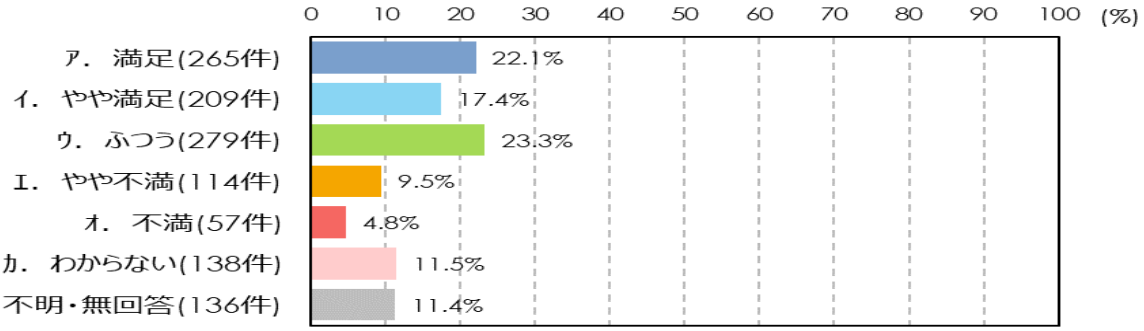
「ｱ．通院」が 497 件で 69.6%と最も多く、次いで「ｲ．買い物」が 229 件で 32.1%となっている。学区別に見ても大きな違いは見られなかった。

⑤【登録したが利用していない理由】



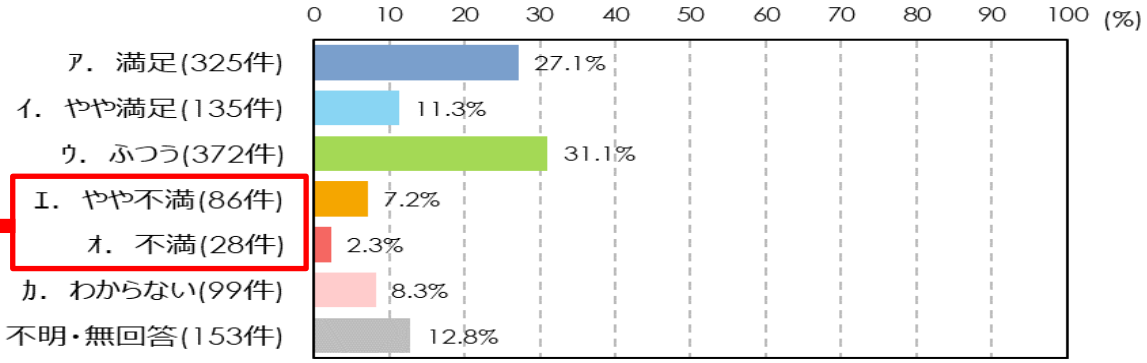
「ｱ.利用予定はないが将来のことを考えて登録したので、まだ利用していない」が 245 件で 60.3%と最も多く、次いで「ｴ．登録したが、家族等に送迎してもらっているから」が 124 件で 30.5%と続いている。学区や年齢による有意差は見られなかった。

⑥【現在の制度に対する満足度】



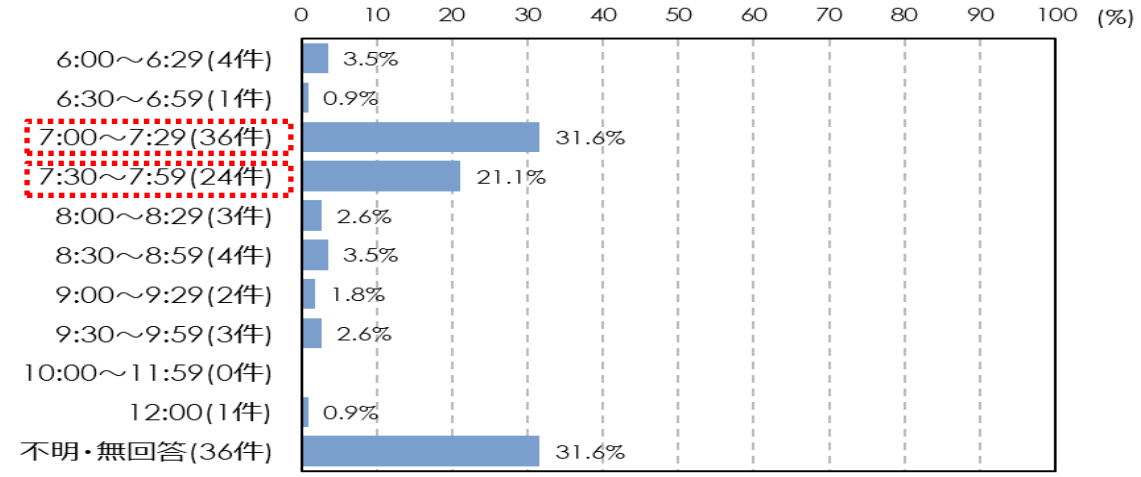
「ｳ．ふつう」が 279 件で 23.3%と最も多く、次いで「ｱ．満足」が 265 件で 22.1%、「ｲ．やや満足」が 209 件で 17.4%と続いており、現在の制度に一定満足されている。
学区や年齢による有意差は見られなかった。

⑦【現在の始発時刻への満足度（現在は午前８：００出発）】



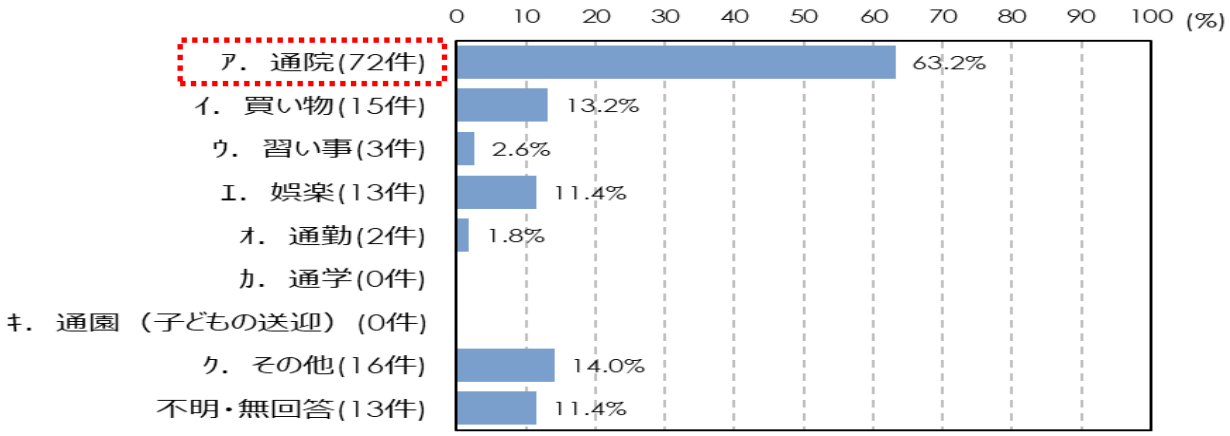
「ｳ．ふつう」が 372 件で 31.1%と最も多く、次いで「ｱ．満足」が 325 件で 27.1%、「ｲ．やや満足」が 135 件で 11.3%と続いている。

⑧【始発時刻が不満またはやや不満と回答した人の希望時間】



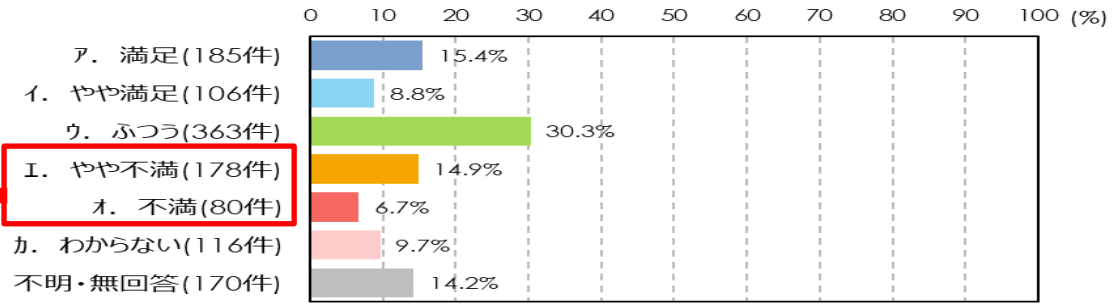
「7:00～7:29」が 36 件で 31.6%と最も多く、次いで「7:30～7:59」が 24 件で 21.1%となっており、不満を感じている人の約半数が 7 時台の運行を希望している。

⑨【始発時刻が不満またはやや不満と回答した人の利用目的】



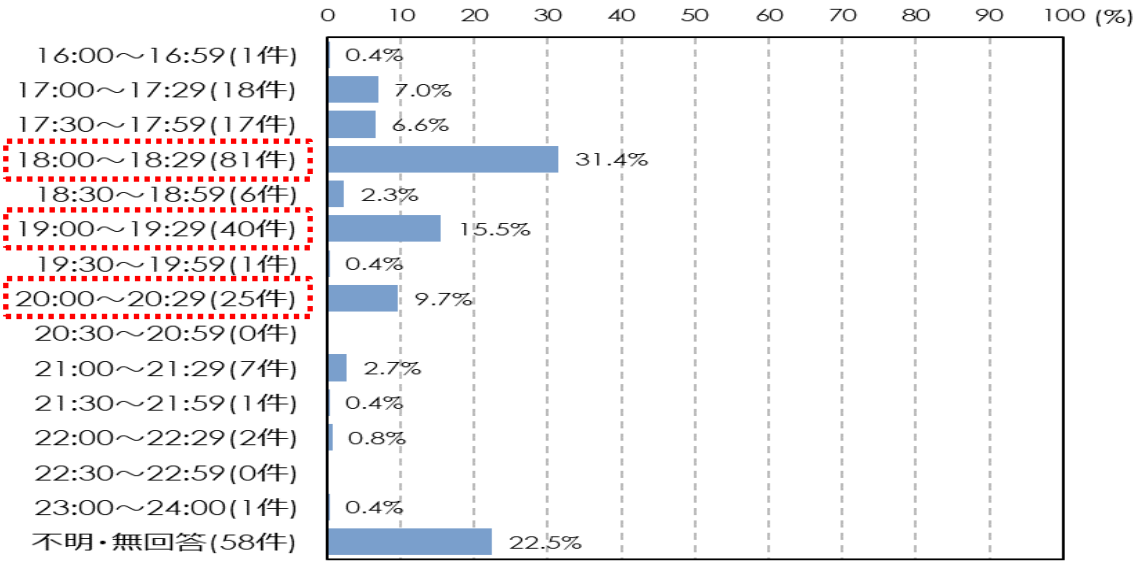
「ｱ．通院」が 72 件で 63.2%と最も多くなっており、次いで買い物が 15 件で 13.2%、娯楽が 13 件で 11.4%と続いている。

⑩【現在の最終時刻への満足度（現在は午後４：３０出発）】



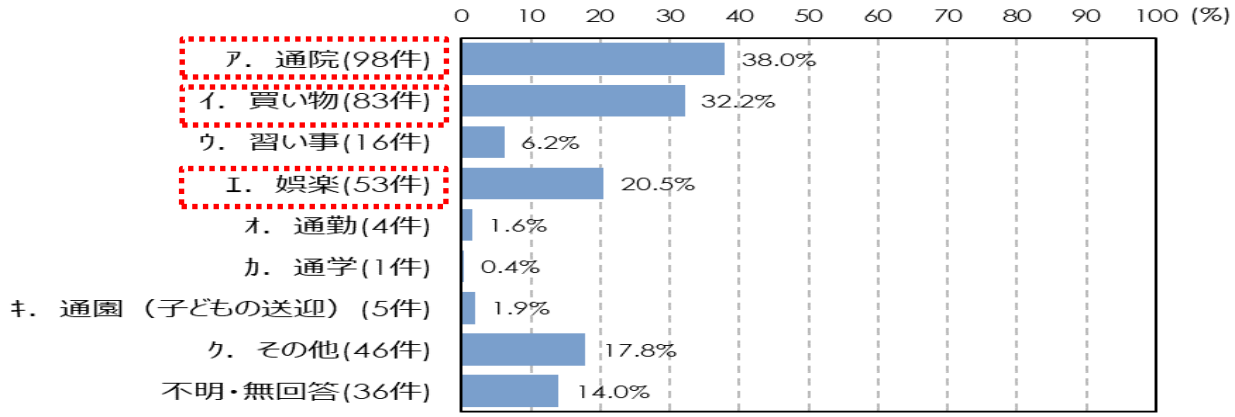
「ｳ. ふつう」が 363 件で 30.3%と最も多く、次いで「ｱ. 満足」が 185 件で 15.4%、「ｴ. やや不満」が 178 件で 14.9%と続いている。

⑪【最終時刻が不満またはやや不満と回答した人の希望時間】



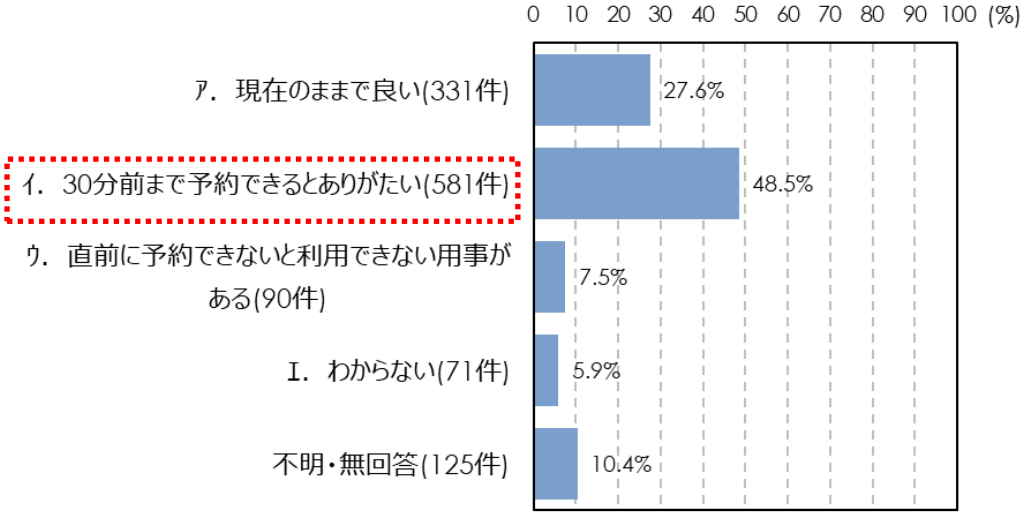
「18:00～18:29」が 81 件で 31.4%と最も多く、次いで「19:00～19:29」が 40 件で 15.5%、さらに「20:00～20:29」が 25 件で 9.7%と続いている。

⑫【最終時刻が不満またはやや不満と回答した人の利用目的】



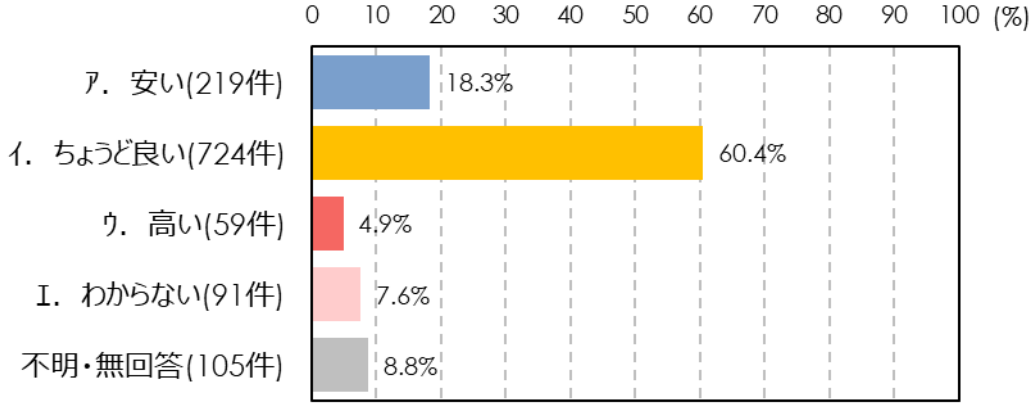
「ｱ. 通院」が 98 件で 38.0%と最も多く、次いで「ｲ. 買い物」が 83 件で 32.2%、「ｴ. 娯楽」が 53 件で 20.5%と続いている。

⑬【当日予約の場合、利用の１時間前までに予約が必要なことについてどう思うか】



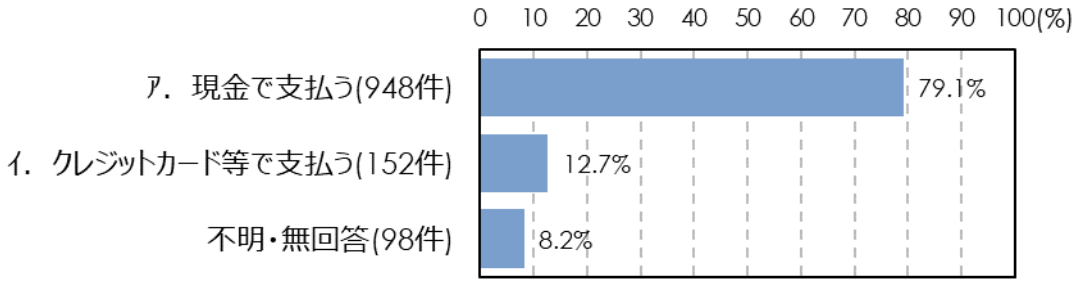
「ｲ．30 分前まで予約できるとありがたい」が 581 件で 48.5%と最も多く、次いで「ｱ．現在のままで良い」が 331 件で 27.6%となっており、「30 分前まで」のニーズが高い。
一方で、「ｳ．直前に予約できないと利用できない用事がある」は 90 件で 7.5%となっている。

⑭【運賃についてどう思うか（現在は１乗車３００円）】



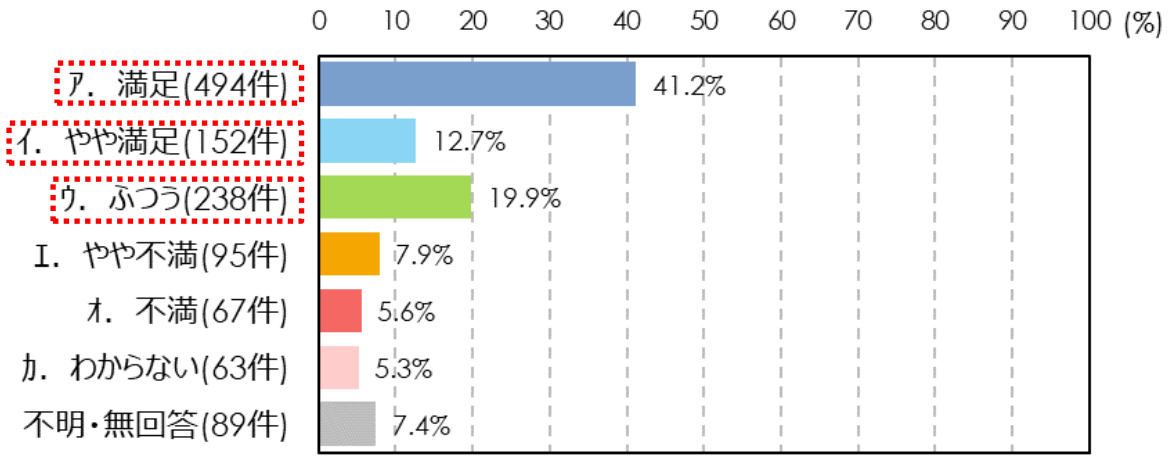
「ｲ．ちょうど良い」が 724 件で 60.4%と最も多く、次いで「ｱ．安い」が 219 件で 18.3%となっており、運賃に対する満足度は高い。

⑮【もしクレジットカード等で支払えるとしたらどちらで支払うか（現在は現金のみ）】



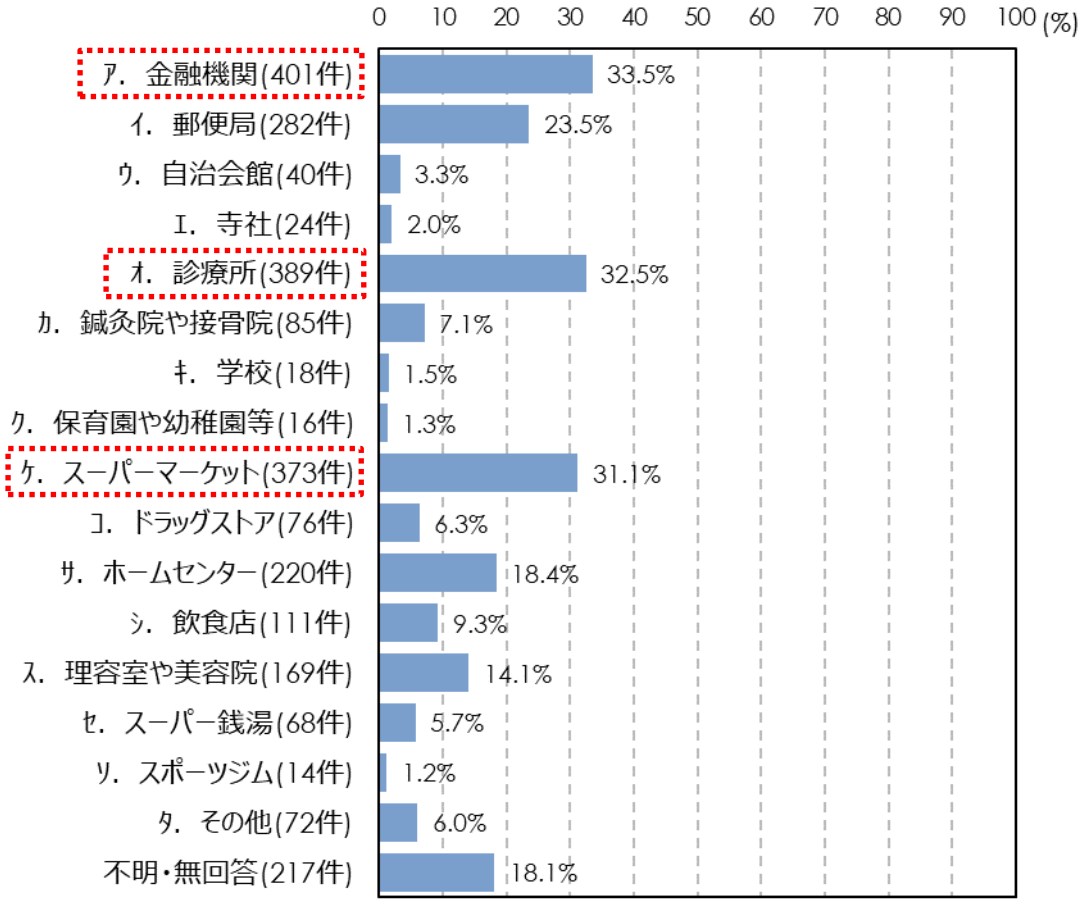
「ｱ．現金で支払う」が 948 件で 79.1%、「ｲ．クレジットカード等で支払う」が 152 件で 12.7%となっている。年齢別に見ると、50 代以下はクレジットカード等で支払う人が多いものの、60 代以上は現金で支払う人が多かった。

⑯【乗降場所までの距離】



「ｱ．満足」が 494 件で 41.2%と最も多く、次いで「ｳ．ふつう」が 238 件で 19.9%、「ｲ．やや満足」が 152 件で 12.7%と続いており、満足度は高い。学区や年齢による有意差は見られなかった。

⑰【希望目的地（市内）】



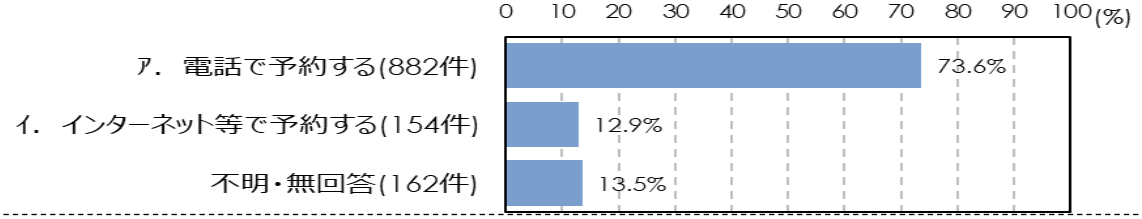
「ｱ．金融機関」が 401 件で 33.5%と最も多く、次いで「ｵ．診療所」が 389 件で 32.5%、さらに「ｹ．スーパーマーケット」が 373 件で 31.1%と続いている。その他「ｲ．郵便局」や「ｻ．ホームセンター」、「ｽ．理容室や美容院」と回答した人も多く、希望目的地（市内）のニーズは分散している。なお、学区や年齢による有意差は見られなかった。

⑱【希望目的地（市外）】

施設分類	施設名	合計	学区別内訳								年齢別内訳							
			ア．守山学区	イ．吉身学区	ウ．小津学区	エ．玉津学区	オ．河西学区	カ．速野学区	キ．中洲学区	ク．わからない	ア．10代	イ．20代	ウ．30代	エ．40代	オ．50代	カ．60代	キ．70代	ク．80歳以上
公共施設	草津社会保険事務所	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	草津保健所	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	栗東芸術文化会館 さきら	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	野洲市総合体育館	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	野洲文化ホール	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
商業施設	アルプラザ、平和堂（店名なし）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	イオン（店名なし）	5	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4
	草津エイスクエア（アルプラザ草津、ディオワールド）	23	10	3	4	1	2	1	1	1	0	0	2	1	1	1	12	6
	くさつ平和堂	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	アル・プラザ栗東	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	イオンモール草津	10	2	0	2	1	4	1	0	0	0	0	0	1	0	1	6	2
	イオンタウン野洲、ザ・ビッグエクストラ 野洲店	24	2	2	0	2	10	7	1	0	0	0	0	0	0	1	9	14
	近鉄百貨店	12	5	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7
	ニトリ（草津）	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	旧イズミヤ堅田店	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	西友（野洲市）	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	マックスバリュ駒井沢店	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	JA栗東直売店	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	道の駅 アグリの郷栗東	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	生活協同組合コープしが	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	かねふく めんたいパークびわ湖	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
医療施設	済生会 滋賀県病院	99	26	29	12	6	16	9	0	1	0	1	3	2	4	8	32	49
	滋賀医科大学医学部附属病院	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	草津総合病院(誠光会)	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	近江草津徳洲会病院	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	野洲病院	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	琵琶湖大橋病院	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	湖南病院	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	湖南広域休日急病診療所	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	希望ヶ丘クリニック	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	近江八幡医療センター	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	草津ハートセンター	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	草津市人工透析病院	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	大津市内	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
神社仏閣、レジャー	希望ヶ丘公園	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	草津市立水生植物公園みずの森、滋賀県立琵琶湖博物館	27	8	6	1	1	4	6	0	1	0	0	1	2	0	2	13	9
	国民休暇村近江八幡	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	草津市宝蔵寺	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	本山綿織寺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
駅、駅周辺	ＪＲ草津駅	24	5	2	6	5	3	2	0	1	0	0	2	1	0	1	11	9
	ＪＲ南草津駅	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	ＪＲ野洲駅	7	1	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6	1
	ＪＲ栗東駅	16	9	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	7	7
	ＪＲ堅田駅	14	1	2	0	0	1	10	0	0	0	0	1	1	0	0	8	4
	京都駅	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
地名	草津	14	2	1	3	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	9
	栗東	6	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
	野洲、中主	4	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	堅田	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	近江八幡	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	東近江	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計		347	94	62	40	27	62	48	10	4	0	1	15	12	8	21	140	150

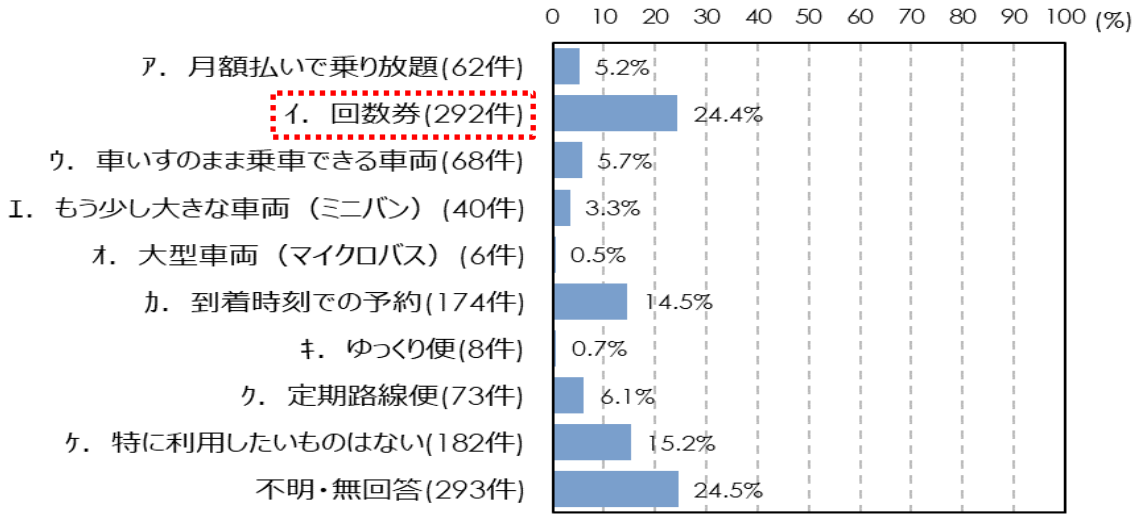
済生会滋賀県病院等の医療施設、草津市立水生植物公園みずの森・滋賀県立琵琶湖博物館等のレジャー施設、イオン等の商業施設、近隣市の駅等、希望目的地（市外）のニーズは分散している。

⑲【もしインターネット等で予約できるとしたらどちらで予約するか（現在は電話予約のみ）】



「ｱ. 電話で予約する」が 882 件で 73.6%、「ｲ. インターネット等で予約する」が 154 件で 12.9%となっている。年齢別で見ると、40 代以下はインターネット等で予約する方が多いものの、50 代以上は電話で予約する方が多い。

⑳【利用したい新サービス】



「ｲ．回数券」が 292 件と最も多く、年齢や学区による有意差は見られなかった。

㉑【もーりーカーに関する感想や要望（自由記載欄）】

・免許返納した時には利用したいので、制度を長く続けて欲しい。
・乗車の時にもーりーカーか普通のタクシーかわかりにくい。
・運行の間隔が 1 時間ごとではなく、30 分ごとであれば利用しやすい。
・乗降場所から乗降場所に移動できると良い。
・利用料金 300 円とメーター料金との差額を税金で負担しているとは思っていなかった。そう考えるともったいなくて娯楽等では使いにくい。
・距離に応じて料金を支払えるよう、タクシーの乗車料金の１割から２割負担にしても良いと思う。
・運賃が半額や無料になる対象を拡充してほしい。
・65 歳以下でも免許がない人が利用できる目的地を増やして欲しい。
・「３歳までの乳幼児を伴って移動する必要がある」要件について、未就学児（６歳まで）が対象だと利用の機会が増える。
・高齢者おでかけパスを持っているが、都合によりバスに乗れない時はもーりーカーを利用しているため、金銭面での負担感がある。
・登録していない人と出かける時に別の車両になってしまうので、同乗できると良い。
・高齢者は体調によって乗降場所まで行くのも難しいことがあるので、もーりーカーとは別で高齢者には（例えば通院に限って）タクシーチケットを交付する等の制度があると良い。

５　「もーりーカー」登録者アンケート結果のまとめ

もーりーカーに登録している人の利用率は約６割にとどまっているが、利用していない人の主な理由は、将来を考えて登録している、家族の送迎があるなど、現在制度を必要としていない方である。

現在の制度については、利用者層全体の中で、当日予約の予約時間・市内の希望目的地に関する改善ニーズが見受けられる。

制度全般を通して概ね満足度は高く、制度としては一定成熟しているものと考えられるため、大きく方向転換を図るよりも、現在の制度をベースとして、より利用者の利便性を高めることで、満足度を上げていくことが求められている。